

1 基本情報

施設名称	大阪市立住之江会館
施設所管課・担当	住之江区役所協働まちづくり課（担当：尾下、松本）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感にあふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1) 貸館運営業務 (2) 徴収事務委託契約に基づく使用料徴収及び収納事務 (3) 施設総合管理業務
成果指標	(1) 利用件数      (2) 稼働率
数値目標	(1) 3,887件      (2)60.2％（利用件数/利用可能件数）
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム
指定期間	令和３年４月１日   ～   令和８年３月31日
評価対象期間	令和５年４月１日   ～   令和６年３月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用件数	稼働率
数値目標	3,887件	60.2％
年度実績	3,288件	51.9％
達成率	84.6％	86.3％

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用件数	3,288件	3,054件	234件
稼働率	51.9％	48.8％	3.1％

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	15,350,000	16,904,876	0	
	計画	15,350,000	15,350,000		
利用料金収入	実績	3,004,580	2,795,130	-495,420	新型コロナウイルス感染症の影響により利用形態の変更による減
	計画	3,500,000	4,000,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	10,131,000	8,482,991	6,131,000	計画以上の自主事業講座を実施したことによる増
	計画	4,000,000	4,680,000		
合計	実績	28,485,580	28,182,997	5,635,580	
	計画	22,850,000	24,030,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	12,542,157	13,711,418	-539,972	スタッフの雇用形態の変更のため
	計画	13,082,129	13,080,000		
物件費	実績	10,161,284	8,743,293	4,266,553	スタッフの入れ替わりによる募集費の増、物価高騰による賃借料の増
	計画	5,894,731	7,206,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	5,287,898	5,728,286	1,414,758	計画以上の講座を実施したことによる講師謝礼等の増
	計画	3,873,140	3,744,000		
合計	実績	27,991,339	28,182,997	5,141,339	
	計画	22,850,000	24,030,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用件数	84.6%	C	昨年度実績は上回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用形態が変わってきているようであり、利用の低迷が続いている。
稼働率	86.3%	C	昨年度実績は上回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用形態が変わってきているようであり、低迷が続いている。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
廊下の照明の点灯を利用者が不在の場合には消灯するなど、電気代の節電に尽力している。	B	こまめに消灯を行うなど経費の縮減を意識し、取り組んでいることが評価できる。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	A	施設の不具合等すみやか修繕等を行い、区役所への報告も迅速であった。また、災害を想定した訓練を本社と合同で行うなど、災害時対策に重点的に取り組んでいる。
事業計画の実施状況	A	最寄り駅にチラシを置くなど利用率向上に向けて努力を行っている。また、自主事業を計画以上に企画し実施したことが、利用者に大変好評であった。
施設の有効利用	A	住之江図書館、住之江老人福祉センターとの複合施設であることから、定例会を行うなど各施設と連携・調整しつつ、迅速かつ適切な施設の管理運営を実施した。
社会的責任・市の施策との整合性	B	コミュニティ活動の振興、地域における文化の向上及び福祉の増進を図る本市施策と整合していた。

5 利用者ニーズ・満足度等

令和5年2月に館内リニューアルを行い、利用者に大変好評であったが、リニューアルできなかったトイレや和室等についての苦情が見られた。
利用者への接遇面においては、積極的なコミュニケーションを図ることにより、良好な関係づくりに努めている。また、利用に係る事故や利用者との大きなトラブルもなく、安定した管理運営を実施できている。

6 外部専門家意見

・利用者アンケートによる新講座事業は評価できる。（アンケート実施から新講座開設までの）過程が見えるようにされてはどうか。
・利用率5割は少し低いと思われるので、利用率の向上に向けて効果的な施策を検討されたい。
・コロナ後の新たなニーズの掘りおこしを引き続き検討されたい。
・Web、SNSなどを活用して区の特性や地域資源を活用したアウトリーチ型の取り組みを検討されたい。また、双方向の情報提供についても検討されたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	C	昨年度実績は上回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用形態が変わってきているようであり、利用の低迷が続いており、成果指標の達成が非常に難しい状況であった。
市費の縮減	B	こまめに消灯を行うなど、細かな面でも省エネに務め、経費の縮減を意識し、取り組んでいる。
管理運営の履行状況	A	新型コロナウイルス感染症流行以降、利用の低迷が続いているが、利用率向上を図るため、様々な対策を行っている。また、複合施設環境にあって、各施設の相互活性化のため、効果的な連携に取り組んでいる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	